

2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年2月8日(日)	実施ブロック	第1ブロック	参加人数	88名
会場	足立区生涯学習センター				
大会名	第1ブロック審判講習会				
指導員名	宮崎雄二、川澄正史				

指導会当日の概要

- ・第1ブロック登録チームの審判員を対象に8人制サッカーの主旨、また、主審、補助審判員の役割の理解を深めるため、前半を講義により、後半を屋外実技指導を実施するスケジュールであったが、昼からの雨天のため実技指導は中止となった。
- ・講義内容は、8人制サッカー趣旨、8人制サッカー競技規則、リスペクトとフェアプレー、主審+補助審判の役割およびレフェリング、オフサイド理解であった。
- ・ステージでの実演と動画等によるプレゼン、および質疑応答を行った。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より2名(宮崎雄二様、川澄正史様)の講師をお招きしました。
- ・参加者は第1ブロック登録チームより計88名参加しました。
- ・第1ブロック登録チームの審判員を対象に8人制サッカーの主旨、主審には、プレイを監視するポジショニングと予測した動き方及び留意点を、補助審判にはベンチコントロール等の役割と留意点を講義により理解を深め、その後実技講習を行う予定でしたが実技講習は雨天のため中止なり、図解による主審のポジショニングを解説していただきました。
- ・オフサイドの守備側選手のプレイについて実演講義や映像を見ながらプレイをしたか等の解説をして頂き、解りやすかったと受講者の方から好評でした。
- ・講義終了に質疑応答の時間を設け、参加者からの質問に丁寧にお答え戴きましてありがとうございます。
- ・審判講習会でブロック全体の審判レベルを向上していけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

指導員コメント

- ・休憩を挟むものの3時間のプレゼントと質疑に真摯に参加された審判員各位、および準備に尽力されたスタッフに敬意を表します。
- ・8人制サッカー競技規則は、そのある程度を大会毎に規定されることが多い。大会規定を理解して試合に臨む必要がある。副審を置かない場合には補助審判が必須となり、その役割は実は少なくない。主審と二人のチームであるが、よい準備を行い、ゲームをコントロールされたい。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2014年5月24日(土)	実施ブロック	第6ブロック	参加人数	111名
会場	座学:浮間ふれあい館3A, B ・ 実技:浮間子どもサッカー場				
大会名	第6B審判講習会				
指導員名	古賀研二				

指導会当日の概要

- ・6ブロック所属の全チームが2人参加義務の研修会で、総勢100人を超す受講生でした。
- ・午前中にホールにて座学で、主にオフサイドの新解釈についてビデオ研修。
- ・午後は場外コートにてオフサイドに係る、プリティカルトレーニングを3箇所に分けて実施。
- ・全員参加の講習会でした。

ブロックコメント

- ・今回は、オフサイドの新解釈に重点を置き、研修を依頼いたしました。
- ・研修会は、座学、実技と2つの分野に分けての実施となりました。
- ・座学では、プロジェクターを用い、オフサイドの基本について再確認を行うとともに、オフサイドの新解釈に関して、要点の説明並びに映像を用いて具体的事例を基に研修を実施頂きました。
- 映像を用いて頂くことにより、より理解を深めることができました。
- ・実技では、「オフサイドのタイミング」、「意図的なプレー」、「相手競技者へのチャレンジについて」、の3つのポイントに分けて6Bトレセン選手の実演により実技研修を行いました。
- ・新解釈についての要点について、実技を行うことにより、理解を深める事ができ、多くの参加者に共通の認識を持つことができました。
- ・大変実りある研修会になったと思います。有難うございました。また、次回、宜しくお願いいたします。

指導員コメント

- ・6ブロックのように、全員参加の研修会は纏まりを感じます。
- ・委員長はじめ役員各位の努力に敬意を表します。
- ・このような結束は少年サッカー育成にはとても必要なことで、指導者、審判の技術アップが少年のレベル向上に大切だと思います。
- ・今後も、継続、繁栄することを望みます。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年3月22日(日)	実施ブロック	第7ブロック	参加人数	44名
会場	中目黒公園グラウンド				
大会名	大岡山招待大会				
指導員名	塩家利孝、阿久津弘之				

指導会当日の概要

- ・大岡山招待大会を利用して、第7ブロック審判研修会を、参加34チーム・44名にて実施。
- ・競技規則の正しい適用と統一性を図るべく、帯同審判員の技術向上を目的とする。
- ・試合形式で20分ゲームを4試合行い、試合全般の指導及び、レクチャーを行う。
- ・参加者全員を対象に、副審の基本的な動き及び、フラッグテクニックの指導を行う。

ブロックコメント

- ・塩家利孝氏に、第一試合及び第二試合の前半を担当して戴き、阿久津弘之氏に、第一試合及び第二試合の後半を担当して戴き、参加審判員も2グループに分け、各試合のアセスメントをはじめ、その後のレクチャーを指導して頂いた。
- ・その結果を、参加者がチームに持ち帰って今後のブロックの帯同審判に活かしてもらいたい。

指導員コメント

- ・大勢の審判員の参加が有り、個々の審判員も審判技術の向上に対する意識が高い。
- ・審判部の指導担当も、宮崎氏・望月氏・中山氏・内藤氏・川村氏を中心に、しっかりした体制で、しっかりフォローが出来ている。
- ・ブロックとしても、亀屋委員長を中心に良くまとまっているとの印象を受けた。
- ・今後、より優秀な審判員の育成にも期待が持てると感じた。
- ・スタッフの皆様には、大変お世話になり、感謝致します。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2014年11月29日(土)	実施ブロック	第9ブロック	参加人数	23名
会場	武蔵野中央公園				
大会名	5年生 4市トレセン				
指導員名	岩崎 浩一、塩家利孝				

指導会当日の概要

- ・4市トレセンのリーグ戦を使って審判実技研修並びに観戦研修を行う。
- ・審判実技参加者は登録審判員16名中の9名が参加。
- ・ブロック所属チームの有志参加者は14名で観戦研修を実施する。

ブロックコメント

- ・11月29日に行われました第9ブロック5年生4市トレセン対抗戦において、一人制審判のノウハウとスキルアップを目的とし、東京都少年連盟審判部育成指導員の方をお迎えし審判研修会を実施いたしました。
 - ・当日は東京都少年連盟審判部役員の岩崎様と塩家様のご両名を指導員としてお招きし、ご指導いただきました。
 - ・全6試合を予定しておりましたが、雨天により第1試合終了後に中止となりました。
 - ・ブロック審判部から9名の部員が参加しました。主審には、位置取りと動き方及び留意点を、補助審判には役割と留意点をレクチャーしていただきました。
 - ・審判育成指導会と並行して、第1試合に第9ブロックの観戦研修会を実施、事前に全チームにアナウンスをして任意での参加を募り、14名の方が参加しました。
- また、試合終了後に質疑応答の時間を設け、参加者からの質問に丁寧にお答えいただきました。
- ・今後もこのような機会を設け、一人でも多くの審判員が実践指導の場を経験して、ブロック全体のレベルアップを目指して行きたいと考えておりますので、引き続きご指導の程、宜しく願い申し上げます。

指導員コメント

- ・1試合目途中から激しい雨となり以降の試合は中止となった。
 - ・その中で1試合目は有志審判の観戦に岩崎が実況の解説とQ&Aを実施する。
 - ・担当審判(主審:橋本氏、補助:中山誠士氏)に対しては塩家が試合分析とアドバイスを実施した。
- また、試合後は審判団全員により試合内容の振り返りと意見交換を活発に行った。
- ・試合数は残念ながら1試合では有ったが、中身の有るケーススタディとなりました。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年1月25日(日)	実施ブロック	第10ブロック	参加人数	11名
会場	立川市立第七小学校				
大会名	立川市小学生クラブ交流大会				
指導員名	川澄正史、小野寺智				

指導会当日の概要

- ・大会最終日の8チームトーナメント8試合(含3決)を利用しての実技研修会を実施した。
- ・審判員10名が主審・補助審判を務め、各試合終了後に試合後との反省会を実施した。
- ・反省会は試合中の審判員以外全員が参加した。
特にその後の試合を担当する審判員の参考になるようコメントした。
- ・決勝戦は観戦しながらコメントを行った。延長10分、PK戦となり、15時50分頃に解散した。

ブロックコメント

- ・1月25日に行われました立川市小学生クラブ交流大会において、一人審判のノウハウとスキルアップを目的とし、東京都少年連盟審判部育成指導員の方をお迎えし審判研修会を実施いたしました。
- ・当日は、東京都少年連盟審判部より川澄様と小野寺様を指導員としてお招きし、ご指導いただきました。
- ・全8試合を審判部10名が担当し、それぞれの試合後に細やかなアセスメントを頂きました。
- ・主審の動きとポジショニング、補助審判の役割と留意点を丁寧に指導いただきました。また、参加者が日ごろ疑問に感じていることなどに対しても、丁寧にお答えいただきとても有意義な研修会となりました。
- ・今後もこのような機会を設け、実戦指導を一人でも多くの審判員が経験できるようにし、ブロック全体のレベルアップが図れるようにしてまいります。引き続きご指導よろしくお願いいたします。

指導員コメント

- ・実技担当した審判員以外でも、他会場割当の前に観戦参加される複数の審判員がおり、積極的な審判員が多いと感じた。
 - ・試合では皆が精力的に走り、正しい判定をおこなうよう努めていた。
 - ・今回の指導は動きとポジショニングにポイントを置いた。
 - ・一人審判の動きは頭で理解しても実践することが容易ではない。
- また、指摘を受けて自身のポジショニングに気付くこともある。判定やコントロールについても試合観戦や審判員同士の意見交換を通して技術向上に努められたい。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年2月11日(水)	実施ブロック	第11ブロック	参加人数	58名
会場	多摩市立東寺方小学校				
大会名	練習試合				
指導員名	古賀研二、加藤義行、須原清貴				

指導会当日の概要

- ・AM9:20～10:30 …… ビデオを利用し座学
- ・AM10:30～12:00 …… 校庭でプラクティカルトレーニング
- ・PM13:00～16:00 …… 練習試合の審判を実施

ブロックコメント

- ・当ブロックは、現在、町田市・稲城市・多摩市の3市にて構成されています。
- ・当ブロックは再編を経てチーム数も大幅に増えたため、あらためて審判要員の発掘、スキルの維持、平準化に意欲的に取り組んでいます。毎年、座学もしくは実技実践などを行い、またブロック内全体会議においては、必要な情報を全チームに発信し、審判に対する意識向上につなげています。
- ・次年度からは、ブロック内大会において全カテゴリーを1人審判制としますため全チームの審判要員を対象に研修会を企画しました。東京都少年連盟から、古賀様、加藤様、須原様におこしをいただき、終日にわたりレクチャーをいただきました。参加者は真剣に取り組むことができ、有意義な1日となりました。
- ・あらためてご指導を賜りましたインストラクターの皆様には感謝を申し上げます。
- ・1人審判法は非常に難しいものと思いますが、競技者、指導者、審判員が相互にリスペクト精神をもち、競技者のために審判員としてできることを当ブロックは着々と進めていく所存です。

指導員コメント

- ・本日参加いただいた審判員は、とても真面目で素直であり、一人制審判技術を習得しようとする意気込みが感じられた。率先したチャレジ、数多くの質問および講評に耳を傾ける姿勢は、育成指導の意義を感じるものであった。ブロック委員長をはじめとするブロック組織の役割、意気込みが十分に発揮されていると感じた。この環境の中で各層の審判員が順調にレベルアップすることを祈っています。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2014年10月26日(日)	実施ブロック	第12ブロック	参加人数	11名
会場	日野市立平山小学校				
大会名	JA5年生大会決勝リーグ				
指導員名	川澄正史, 加藤義行				

指導会当日の概要

- ・12ブロックの代表3チームを決定する決勝リーグ。4チーム参加6試合。審判4人制。担当審判員はブロック審判員3級全11名。試合時間40分間。第1試合10時キックオフ。
- ・第1試合開始前に丸山審判委員長の進行にて審判育成指導員2名が紹介され、実技指導内容の確認がなされた。各試合直後に審判クルーとの反省会を実施した。

ブロックコメント

- ・12ブロック所属審判員14名、登録審判員102名/51チーム、3級審判インストラクター3名。
 - ・ブロック内各大会2次Tを使用し登録審判員に対する実技研修会を実施(各大会48名づつ)。
 - ・ブロック内各大会決勝Lは所属審判員に割当て(インストラクターによる育成指導)。
- 上記内容で審判活動を行っております。
- ・今回のJA5年生決勝Lはいつも登録審判員に対する実技研修の際インストラクターとして活動している所属審判員達です。
 - ・自分達が指導時に言っている事を実際出来ているか、又インストラクターに見られている大きなプレッシャーの中で、良い走り、良いポジショニング、適確なジャッジなどみんないっしょに一生懸命よりよいパフォーマンスを見てもらおうと頑張っていました。
 - ・中央大会に推薦した主審5名の内3名が今回初めての決勝大会を吹きました。
 - ・若い審判を中央に送ろうと思っております。宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・気温も比較的高い秋晴れの中、試合が計画通り滞りなく実施された。
- ・事前の設営やセッティング、4チームとの打合せが十分であること、普段のしっかりしたブロック運営などがうかがえた。
- ・レフェリングは各試合にマッチしていた。
- ・担当審判員全員が向上心を持ち真剣に取り組んだことに敬意を表する。
- ・更なる上達には判定基準、ポジショニング、スタミナ等の向上が重要である。
- ・更にあまり起こらない複合事象(怪我や交代場面他)への迅速で的確な対応能力が必要であり、事前にイメージしておくことが大切である。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2014年7月20日(日)	実施ブロック	第16ブロック	参加人数	16名
会場	駒沢補助競技場				
大会名	第12回8都県少女8人制大会 八千代銀行「夢」カップ東京都大会決勝トーナメント				
指導員名	古賀研二、川澄正史、塩家利孝				

指導会当日の概要

- ・東京都少年サッカー連盟・第16ブロック(少女部)の審判育成研修会。
- ・少女部に所属する審判の一人制審判法の技術力アップを目的。
- ・大会は8人制の東京代表を決定する決勝トーナメント戦であり、選手レベル、フィジカルは高く、緊張感を持って臨むことが求められる環境である。

ブロックコメント

- ・7月20日に開催された第12回8都県少女8人制大会において一人制審判における正しい審判方法の確認と審判技術向上を目的に少年連盟審判部育成指導員の方をお迎えしました。
- ・当日は古賀審判部長と2名の指導員の方をお招きし指導にあたっていただきました。
- ・指導場面は1・2回戦の全16試合を見ていただき、試合後各審判員に個別指導をしていただきました。
- ・試合中のPKや試合後の勝敗を決定するPKの主審、補助審判の位置に関してはビデオをご持参いただき、丁寧にご指導をいただきました。
- ・当日は16名の審判員が参加し、より正しい位置取りや試合で起こった事象をもとに指導をいただき、大変参考になりました。
- ・16ブロックは今年度から少年連盟に所属し都内で活動する少女チームのブロックとして立ち上がりました。
- ・今後もブロック中央大会等でこのような実践指導の場を多くの審判員が経験することにより、ブロック全体の技術向上を目指したいと考えております。

指導員コメント

- ・蒸し暑い中、大変お疲れ様でした。役員の皆様の指導力で大会の初日が無事、終了した事は喜ばしいところです。参加の審判員は熱心に、指導に耳を傾け、多くの質問もありました。
- 研修の意義を理解され、協力いただいたことに感謝します。
- 1、一人制は選手、指導者、サポーターが互いにフェアプレー、リスペクトの理解が必要。
- 2、選手のプレーゾーン、パスコースに入らないオープン位置。 次の争点を予測した位置取りおよび、ゴールライン、オフサイドライン監視位置の重要性の習得及び磨きをかけて下さい。
- ・貴部会の今後益々の御発展をお祈りするとともに、育成研修制度の活用をお願いします。

指導会写真



2014年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2014年5月25日(日)	実施チーム	町田JFC	参加人数	35名
会場	町田市木曽団地集会所				
大会名	町田JFC指導者全体会議(審判講習会)				
指導員名	古賀研二				

指導会当日の概要

- ・クラブチーム町田JFCの定期的な会合、報告会、スキルアップ研修会への参加依頼でありました。
- ・講習内容は、一人制審判法およびオフサイドの新解釈について、資料とビデオの研修でした。
- ・参加の皆さんはほとんどが、指導者の皆さんでありましたが、帯同で一人制審判を行う事もあり、真剣な講義内容でした。
- ・質問も指導者らしい内容が多く、こちらも勉強になりました。

指導員コメント

- ・審判のみをするスタッフはおらず、皆コーチングスタッフというなかで審判に対する姿勢、年齢(若手、年配)などが懸念事項となっていた。
- ・活動としては、主に主催大会または招待大会、練習試合、公式戦という状況。
- ・映像があり解かりやすいという意見が多かった。
- ・エクセルのデータが欲しいという要望とオフサイドの話しをもう少し聞きたかったという意見があった。
- ・今回にみるクラブチーム単位での勉強はとても大切な事で、益々繁栄する事を祈ります。
- ・今後、審判員研修とは言え、審判員のみならず技術指導者、選手、サポーターも参加しての勉強会はサッカーの健全な発展に必要なだと感じました。
- ・これを機会に、少年サッカー連盟審判部の役割の拡大を考えたいきっかけの研修でした。

指導会写真

